

キリコヤガ

マイク・レズニック著

ハヤカワ文庫



For

この本は、キリコヤガという世界を舞台とした連作集である。キリコヤガ——聞きなれない名前のこの世界は、宇宙に浮かぶ小惑星にある。アフリカの一部族、キクコ族である主人公のコリバは、ヨーロッパ人の文化に染まった故郷の暮らしを拒み、キクコ族本来の生活を取り戻すためにキリコヤガを設立した。その祈禱師となった彼は、ナンセンスとも思える伝統的なことがらを、頑なに守り続ける。

取められた8篇の物語には、キリコヤガ内のいさかみや、コリバに持ちかけられる相談事、ときには外の世界からやってきた者との交流・反発などが描かれる。物語はコリバの一人称で語られ、内容の多くを占めるのは、彼と他の者との示唆に富む問答だ。それぞれがずしりと重く、読者に様々なことを考えさせる。

その中で私が特に薦めたいのは「空にふれた少女」である。

この話に登場するのは、カマリという、キリコヤガに住む女の子である。彼女はコリバの小屋に通ううちに、そこにある書物やコンピュータに興味を持ち、読み書きを学びたいと願う。しかしコリバは、キクコ族の女は学ぶことは許されないとして、知識を得る機会を奪ってしまう。

「鳥はいったん空にふれてしまったら、地上での暮らしには満足できなくなる」
いったん知識という「空」にふれてしまった少女は、翼の折れた鳥と同じように、もはやそれを持たなかった頃のように生きることはできなかった。

the Sky

物語が進むにつれて、キリコヤガからは伝統的な生活が消えていき、かつてはキリコヤガであったコリバの権威は失墜する。コリバはついにキリコヤガを去り、一人孤独にキクコ族本来の暮らしを続けていこうとするのである。

I Have Touched

コリバの生き方は、他人の思想を受け入れず、自分の価値観を他人に押し付けているようにも見える。読んでいて共感できない部分も多く、そこまでして伝統的な生活を守らなければならないのか、とってしまう。しかし、科学技術があふれる日常生活の中では気づきにくい視点が、この作品の中にはある。

がんたん Cooking

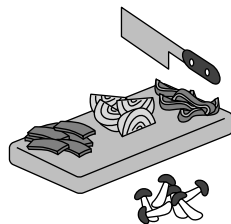
あんかけそうめん

夏と言ったらそうめん。今回は、そのそうめんの少し変わった食べ方を紹介します。栄養もたっぷりあって暑い夏にオススメです。(じゃん)

材料 (1人分)

茹でたそうめん (1人分)、豚肉 (50g)、玉ねぎ (1/4個)、ピーマン (1/2個)、もやし (1/4袋)、しめじ (1/2房)、にんじん (1/4本)、にんにく (お好みで)、めんつゆ、片栗粉

① にんじんは薄切り、玉ねぎ・ピーマンはくし切り、しめじは小房に分ける。



② フライパンで多めの油を熱し茹でたそうめんをこげ色がつくまで焼き、皿に移す。

③ 油を足し、にんにく、豚肉、野菜の順に炒め、水1カップを加えて煮る。



④ めんつゆ大さじ2、醤油小さじ1、塩・こしょう少々、酒大さじ1で味をつける。

⑤ 片栗粉大さじ1.5を同量の水で溶き、それとろみをつけ、そうめんの上からかけてできあがり。



はみだし
すてーじ

これから投稿の鬼になります。記念すべき第一回です。載せてください！
⇒載せましたよ。毎回投稿してくださいねー。

(理・1 Lunar Cat)
(待ってます；編)